

# 居室の採光

建築基準法第28条 (居室の採光及び換気)

居室には、採光のための窓やその他の開口部を設け、その採光に有効な部分の面積は、その居室の床面積に対して、住宅にあつては1/7以上、その他の建築物にあつては1/5から1/10までの間において政令で定める割合以上としなければならない。・・・

条件(住宅の居室の場合)

- ・ 「有効採光面積」が「床面積」の1/7以上必要
- ・ 「有効採光面積」＝「開口部の面積」×「採光補正係数」
- ・ 「採光補正係数」＝ $D/H \times 6.0 - 1.4$

床面積に対する採光に有効な部分の面積の割合

$$= \frac{\text{窓面積} \times (D/H \times 6.0 - 1.4)}{\text{床面積}} \geq \frac{1}{7}$$